

## 第1回地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸協議会 議事録

○日 時：平成29年9月5日（火） 10:00～11:50

○場 所：浦和コミュニティセンター 10階 第14集会室

○出席者

【委員】（敬称略）

委員長 久保田 尚：埼玉大学大学院教授 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門

伊 東 誠：（一財）運輸総合研究所 調査事業部 主席研究員

金子 雄一郎：日本大学 理工学部土木工学科 教授

椎本 隆美：（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社  
計画部担当部長

瀬田 史彦：東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授

山下 智史：（株）JTB関東 地域交流グローバルチーム担当マネージャー  
観光開発プロデューサー

吉田 育代：（株）日本経済研究所 調査本部 上席研究主幹

山崎 明弘：埼玉県 企画財政部 地域政策局長

岡崎 繁：さいたま市 都市戦略本部 理事

○欠席者

【委員】（敬称略）

福田 大輔：東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 准教授

○議題及び公開又は非公開の別

（議題）

- ① 地下鉄7号線の意義・必要性について
- ② 延伸計画について
- ③ 概算建設費について
- ④ 需要予測について
- ⑤ 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定に向けての調査について

（公開・非公開の別）

公開

○傍聴者数 2人

## ○審議した内容

- ① 地下鉄7号線の意義・必要性について
- ② 延伸計画について
- ③ 概算建設費について
- ④ 需要予測について
- ⑤ 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定に向けての調査について

## 1. 開会

〈司会〉

本協議会は公開を原則とするため、報道関係者・傍聴者ありということについて御了承頂きたい。

## 2. 主催者挨拶

さいたま市副市長挨拶

## 3. 資料確認、委員・オブザーバー紹介

〈司会〉

委員の紹介については、出席者名簿にて御確認頂きたい。また本日、福田委員は所用により欠席である。

## 4. 委員長の決定、委員長挨拶、委員長代理の氏名

〈伊東委員〉

久保田委員を推薦。

〈司会〉

異議なしの為、委員長は久保田委員にお願いしたい。

〈久保田委員長〉

延伸は非常に大きな政策テーマ、長年議論されてきた。今回は各専門家に集まって頂き、延伸線、まちづくりを科学的に議論したいので皆様のご協力をお願いしたい。

また、委員長代理は伊東委員を指名する。

## 5. 分科会委員の選任

〈久保田委員長〉

鉄道分科会は伊東委員、金子委員、椎本委員、福田委員を指名し、分科会長は伊東委員とする。まちづくり分科会は久保田委員長、瀬田委員、山下委員、吉田

委員を指名し分科会長は私（久保田）とする。山崎委員と岡崎委員は両分科会を兼任していただく。

〈伊東委員〉

鉄道分科会の分科会長代理は金子委員を指名する。

〈久保田委員長〉

まちづくり分科会の分科会長代理は瀬田委員を指名する。

## 6. 議事

### 1. 協議の進め方

〈事務局〉

（資料1 『1. 協議の進め方』について説明）

〈伊東委員〉

一般的にはまちづくりが先行し、それに伴い鉄道建設を検討するものであるが、今回はまちづくり分科会と鉄道分科会の開催時期が並行している。そのあたりどう考えれば良いのか。

〈久保田委員長〉

議論の中身としてまちづくりのボリュームが決まらないと鉄道の検討ができないのでは。

〈事務局〉

まちづくり分科会で方向性を決め、鉄道分科会に反映させるようにする。

〈久保田委員長〉

検討の進め方については考えて頂き、指摘を踏まえて少し修正して頂きたい。

### 2. 報告事項

〈事務局〉

（資料1 『2. 報告事項』について説明）

（事前に福田委員から頂いた意見を紹介）

『②浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの達成状況の資料は、交流人口を強調しており、埼玉スタジアム等のイベント事業は需要への重要事項であ

るが、需要予測手法に適切に反映されていない可能性がある。また、岩槻駅周辺の定住人口の推移を示していただきたい。』

※「岩槻駅周辺地区・東岩槻駅周辺地区の人口推移」の資料を配布。

〈久保田委員長〉

今配布された資料については、今後の需要予測に反映させるという意味で良いか。

〈事務局〉

福田委員より「岩槻駅周辺の定住人口の推移を示していただきたい。」との指摘を受け、岩槻駅周辺の定住人口の正確な数値を調査したものである。直接、需要予測に反映するものではない。

### 3. 協議事項

#### ①地下鉄7号線の意義・必要性について

〈事務局〉

(資料1 『3-①. 地下鉄7号線の意義・必要性について』説明)

〈久保田委員長〉

意義・必要性について、追加項目はないかというテーマで意見を頂きたい。

〈吉田委員〉

平成29年度の「地下鉄7号線の意義・必要性について」の項目に対して感じたこととして、延伸区間のみでなく、埼玉高速鉄道線、東京メトロ南北線を含めた沿線全体として魅力の向上による集客性、採算性改善といったことが考えられるのではないかと思う。例えば、東武伊勢崎線では、日比谷線との乗り入れにより越谷や春日部に見られるように沿線の価値が高まり、乗降客数の増加に繋がったのではないかと考えられる。区間というより沿線全体での魅力の増加による効果を取り上げてはどうか。

〈事務局〉

検討させて頂きたい。

〈椎本委員〉

平成28年の交通政策審議会（以下、交政審）のとりまとめでは、従来と若干方向性が違ってきている。

例えば海外からの需要、列車遅延の状態等の視点に代わってきている。平成23年からは方向性が変わってきているため、交政審の取りまとめ方を参考にしてはどうか。しかし、交政審にとられると、タイトル等が変わってくる可能性があるため、事務局に判断は任せたい。

〈伊東委員〉

岩槻や中間駅、浦和美園も含めた埼玉県、さいたま市の中での位置付けをもう少し強調できないか。例えば岩槻だと人形のまちというように、地域の位置付けをきちんと議論して強調してほしい。

〈岡崎委員〉

岩槻は古くから歴史・文化を育んできた。一方、PRの効果が広がりにくい状況もあるため、岩槻の良さを国内外に示して交流人口を増加させることが必要と考えている。吉田委員からの沿線全線を考えるというご意見は最も考える。浦和美園は新しい文化を作っている、岩槻は歴史・文化を育んできた、川口は鋳物のまちとして栄えてきた等、特徴ある地域を結ぶ路線という視点もあるとよい。都内へ結ぶということは大前提であるが、シニア世代のライフスタイルとして、隣町へ気軽に遊びに行くような場合の移動手段というのも新たな視点として盛り込めるのではないか。なかなか定量的な数値は算出できないが、委員の方から意見を頂きたい。

〈久保田委員長〉

岩槻の意見は頂いた。美園についてはランドデザインができています。中間駅についてはこれからまちづくりの方向性を考えて頂く。

〈伊東委員〉

岩槻は歴史があると言われているが、どういう歴史があるのかがあまり知られていない。まちづくり分科会で議論して頂きたい。

〈金子委員〉

平成29年で示した意義・必要性の項目自体に異論はないが、それぞれの項目が抽象的であり、具体的にどのような効果があるのか、示した方が良いのでは。例えば、混雑緩和はどこ路線のことなのか。利便性向上とは。リダンダンシーとは。高速道路との連携というのはどんな意図か。という疑問をもたれる可能性がある。

〈事務局〉

資料 2 補足説明資料の 20 ページに各項目の具体的内容を記載している。

〈金子委員〉

資料 3-①の地下鉄 7 号線の整備効果について、もう少し見やすい形にして頂いた方がよい。

〈久保田委員長〉

もう少し丁寧な資料にしていただくと同時に、今の意見を参考にしてほしい。

## ②延伸計画について

## ③概算建設費について

## ④需要予測について

〈事務局〉

(資料 1 『3-②延伸計画について』  
『3-③概算建設費について』  
『3-④需要予測について』 まとめて説明)

〈岡崎委員〉

論点ペーパーの②延伸計画についてで示されている埼玉スタジアム駅の常設化について、平成 23 年度地下鉄 7 号線延伸検討委員会では、サッカーの試合開催時のみ開設する臨時駅として検討していた。

みそのウイングシティにおいては、UR 都市機構が実施していた土地区画整理事業が年度内に完了し、埼玉スタジアム駅の北側も宅地開発されると思われる。また、みそのウイングシティ周辺には高校や大学もあり、比較的、埼玉スタジアムに近い。みそのウイングシティエリア内・外を問わず、埼玉スタジアム駅を常設化することにより、地域の成長発展に寄与するものではないかと考えている。B/C 等の定量的な試算をする際には留意が必要だと思うが、これからのまちの成長発展に欠かせない議論だと思うので、ご意見を頂きたい。また、埼玉スタジアム駅が常設化されれば、浦和美園駅に集約されているバスネットワークの一端を担うこともできる。

〈久保田委員長〉

埼玉スタジアム駅を常設化として需要予測を行うと、高速道路の反対側にある高校への通学の需要も見込められると思われる。駅員の経費等は増加するが、常設化した方が良い結果になるのではという理解でよいか。B/C 等の計算をしてみれば

よいと思う。

〈伊東委員〉

今年、どのような調査をしたいという企画書がないので議論しにくい。

埼玉スタジアム駅を常設化すると、浦和美園を利用している人が埼玉スタジアム駅に転換するだけかもしれないし、新規需要を呼びかもしれない。

〈椎本委員〉

埼玉スタジアム駅の常設化を肯定する観点から発言する。埼玉スタジアムはサッカー等の球技に特化した利用となっている。常設化するという事は常に利用者がいないといけないので、県・市で常用させるための対策が必要である。埼玉スタジアムは芝生の問題があるので、芝生の上にシートを引いて映画等のイベントを行うなど、発想の転換を行い、利用頻度を高める必要がある。また、埼玉スタジアムには大きな駐車場があるのでパーク&ライドや、駅前に大型商業施設を作るとか、利用させる方策を考える必要がある。また、サッカーに特化しないイベントを考えた場合、その際の費用はさいたま市さん、埼玉県さんが負担し、駅をつくる費用とする。そうすれば駅の費用は不要という形になるのではないかと考えられる。

〈山崎委員〉

埼玉スタジアムの利用促進方策は、これまで相当議論されている。それらを踏まえて、延伸検討委員会や検討会議の報告書において、埼玉スタジアム駅は臨時駅となっているため、抜本的な方策がないと変わってこないと思うが、宅地開発も進んできているようなので検討することは良いのではないか。

〈久保田委員長〉

見込めるものは見込んで検討してみればよい。

〈金子委員〉

建設費について、最近は資材の価格等が高くなっていると思われ、もっと先のことを考えると建設コストは下がる可能性がある。また、URUP工法は特定の会社の工法名のため、表現に留意する必要があるのでは。需要予測について、人口予測値は国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の数値が今年の4月に出ていたかと思うが。

〈事務局〉

人口予測値の最新情報は確認する。

〈伊東委員〉

社人研の人口予測は、東京圏についてはいつも低めに見ている。東京圏全体は社人研の数値でやむを得ないかもしれないが、沿線の数値は市の政策等もあると思うので、きちんと見る必要がある。福田委員の意見にもあったが、交政審の数値は日常の行動のため、岩槻に遊びに行くといった交流人口は考慮されていないので、数値の扱いに留意する必要がある。

〈吉田委員〉

建設コストについて、物価の話もあったが、東日本大震災等、建設物価に影響する事象があったが、東京オリンピック後の建設物価の傾向についても検討する必要がある。B/Cについては社会的割引率を用いるが、建設物価が上昇していくのに対して、社会的割引率が一定のため、物価上昇に伴う社会的割引率の変動についても考えていく必要があると思う。また、需要予測について、新しい社会トレンドを入れて予測する場合、交通機関分担率など過去のトレンドを使うことが適切なのか。

〈久保田委員長〉

物価上昇については、平成 23 年からの物価上昇は考慮しているようだが、オリンピック終了後に物価がどうなるか。

〈伊東委員〉

鉄道分科会で議論したいと思うが、過去のトレンドを自分で調べてみたところ、一度上昇した物価は下がらない傾向にある。

〈久保田委員長〉

需要予測については、延伸線沿線のみでなく、東京メトロ南北線まで見て頂けるということで良いか。

〈椎本委員〉

建設コスト縮減について、道路交差部の構造形式変更は良いアイデアだと思うが、まちづくりも進んでいるようなので、最新の平面図に対して計画してほしい。また、道路交差は大体斜めとなっているため、資料で説明されたように本当に渡ることができるか精査してほしい。

トンネル新工法についても最近良く使われているが、立坑を省略できる分は安



価となるが、シールドマシンは反力受けや浮上り防止等の対策で高くなるので地盤条件を踏まえて確認が必要。概算建設費を見たときに、土木費は安くなっているが、それ以外の費用、特に総係費などは平成23年と変わっていないが、工事費に一定の比率を乗じることが通常であるが、変わっていないか。

〈久保田委員長〉

この辺りは鉄道分科会で議論して頂く。

〈瀬田委員〉

需要予測の前提について、どの地域にどの程度の利用客を集めるのかももう少し強い仮定を設定した上で実施するのが良い。これまでの経緯をみると、何もしない条件下では需要予測をやるまでもないように感じる。近年の傾向を見ると、鉄道沿線のまちづくりを進めることやコンパクトシティとして、駅毎に都市機能を分散してまちづくりするなど、沿線都市と鉄道会社が協力してまちづくりを進める例もある。公共施設の統廃合など、人の動きについて強い仮定を置いて需要予測を実施するのが良い。最終的には厳しく評価する必要があるが、鉄道分科会では幅広く可能性を検討すると良い。

〈久保田委員長〉

これも鉄道分科会でお願いします。今年度の予測は1ケースのみか。

〈事務局〉

基本となるケースのほかに、2ケースくらい実施する予定である。

〈伊東委員〉

まちづくりの方でボリューム感を含めて具体的に計画をして頂いてから、需要予測を実施する。

## ⑤浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定に向けての調査について

〈事務局〉

(資料1 『3-⑤浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定に向けての調査について』説明)

〈伊東委員〉

この調査を実施するということか。

〈事務局〉

現状をより詳細に把握することを考えており、過年度で実施しているものもあるが、資料記載の調査概要を実施する予定である。

〈椎本委員〉

浦和美園の定住人口は延伸線の需要予測には反映されないと思う。問題は浦和美園から遠いところであり、岩槻は施策を実施して交流人口を増やすことはできると思うが、やはり中間駅をどうするかが重要である。資料2-8【参考資料6】の開発人口  $4 \text{千人} + \alpha$  で需要予測を実施するのか。中間駅をさいたま市がどのように作ろうとしているのか、定住人口をどうするか、ここをしっかりと作らないと厳しいと考える。

〈久保田委員長〉

中間駅のエリアは市街化調整区域である。ここに対して市はどのような開発を想定しているのか。

〈事務局〉

中間駅の考え方は資料2-8【参考資料6】が市の中でオーソライズされたものであり、現在、これ以上のものを出すのは難しい。

〈久保田委員長〉

まちづくりの分科会において、中間駅はどうしたいのか。

〈事務局〉

資料2-8【参考資料6】の内容をベースとしてご意見を頂いて市として検討したい。

〈山崎委員〉

浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン（以下、成長・発展プラン）を策定・実行し、強化して頂いている中で、交政審での評価では、需要の創出に繋がる沿線開発や交流人口の増加に向けた取組を行うこと、との宿題を頂いているため、まちづくり分科会でしっかり検討してほしい。その際、瀬田委員の言われたようにコンパクトシティなど最近の傾向を踏まえた施策も考える必要がある。

〈久保田委員長〉

さいたま市ではコンパクトシティを目指すこととしている。従って、今回の議

論も、市の都市計画全体を踏まえながら議論する必要があるのではないか。

ただし、これは、まちづくり分科会だけで議論できるようなレベルではない。まちづくり分科会で提案をすることは可能であるが、都市計画としてどう考えるのかが必要となる。

〈事務局〉

市としてもまちづくりは最重要課題として認識している。まちづくり分科会で頂いた意見の中から市として計画を導きたい。

〈久保田委員長〉

まちづくり分科会に都市計画担当を入れて頂けるか。絵に描いた餅のように今年度協議した内容が、来年度に都市計画担当に確認して頂いてから不可能と言われると今年度の協議会の意味がなくなる。

〈吉田委員〉

資料3-10の調査概要、交流人口を考えるとときに情報発信も重要である。現状、どのような情報発信をしているのか整理して頂き、今後の情報発信のあり方を議論するのも良い。

〈伊東委員〉

大きな大学病院が来ると広範囲から人が集まる可能性があるので、既存の大規模病院の事例を調査できないか。

〈久保田委員長〉

ぜひお願いしたい。

## ◇全体を通しての意見

〈久保田委員長〉

全体を通しての意見をお願いします。

〈瀬田委員〉

このままだと荷が重いような。雲をつかむような話をすればよいのか、事務局が期待している線はどの辺なのか、方向性を示してほしい。

〈金子委員〉

B/C の話が出たため、B/C は経済効率性のみに着目した評価であり、1 を超えるのが必須であることは確かであるが、あくまで B/C は一部の効果であるので、幅広い視点から考えた方がよい。

〈久保田委員長〉

意義・必要性においても B/C 以外のことを書いて頂いている。B/C は 1 にちょっと足りないが、他の意義・必要性もあるというのも到達点であると考えている。

〈久保田委員長〉

オブザーバーの方もご意見あれば。

〈関東地方整備局 建政部 都市整備課 川崎課長〉

B/C ができるかが最大のポイントであり、まちづくりがなければ B/C がでないというのが共通の認識。まちづくり分科会で良い検討をしていただきたい。

〈久保田委員長〉

福田先生から何かコメントはあるか。

〈事務局〉

(福田先生から)

- 『交流人口は重要であるが、需要予測に適切に盛り込まれていない可能性があるのではないか。』
  - 『現地視察をした際、浦和美園駅の駐車場需要が多いことが確認できた。この駐車場利用客の発地分布が分かればパーク&ライドの可能性など、検討の基礎資料になるのではないか。』
- というご意見をいただいた。

〈久保田委員長〉

駐車場のパーク&ライドも良い考えであるが、一方でいつまで駐車場かも不明なため、将来も考えた上での検討が必要である。

〈久保田委員長〉

有用な議論になった。今回はこれで終わりとしたい。

〈司会〉

次回の開催予定は以下のとおり。

- 第1回まちづくり分科会：11/6（月）10:00～ 大宮区役所 6F 大会議室
- 第1回鉄道分科会        : 11/28（火）14:00～ 大宮区役所 6F 大会議室

## 7. 閉会

○問合せ先   さいたま市 都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部  
                  電話番号 048-829-1871  
                  FAX       048-829-1997